

【11月の休館日】
1日(木) 6日(火) 13日(火)
20日(火) 27日(火)

毎月1日・毎週火曜日は休館です。

福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-19:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆ WEEKEND FLOWER
11/3(土) 10:00-
- ◆ ぶらんこさんのおはなし会
11/3(土) 11:00-11:30
- ◆ 大人の折り紙教室
11/7(水) 10:10-12:00
- ◆ 谷賢明・南雲俊樹写真展「世界の絶景と日常」
11/8(木)～11/26(月)
- ◆ 上映会 大人向け ☎
「人生、いろいろ」
11/10(土) 14:00-16:00
- ◆ おはなし会 子ども向け
11/11(日)・25(日) 14:00-15:00
- ◆ おはなし会 乳幼児向け
11/15(木) 11:00-11:30
- ◆ 赤いふうせんさんのおはなし会
11/17(土) 11:00-12:00
- ◆ 上映会 子ども向け ☎
「新・恐竜大進撃」
11/17(土) 14:00-14:50
- ◆ 絵本のつどい 大人向け
11/18(日) 13:15-15:00
- ◆ 子どもの折り紙教室
11/24(土) 11:00-12:00

☎…有料 ☎…要申込

本格アレンジメントを体験! BOXフラワー教室

見た目の美しさから、贈り物にも人気のボックスフラワーを「クラモト花店」のサポートで体験できます。人気の企画ですので、ご予約はお早めに。

日時 ▶ 11月18日(日)
13:30～14:30

参加費 ▶ 1,000円

場所 ▶ 1階 ものづくりラボ

定員 ▶ 10名(小学生以上)
※低学年は保護者同伴



PICK UP INFORMATION

古代のロマンを楽しむ1日! 九州歴史資料館WS

古代の文化を遊んで学べる3つの企画。企画2・3は13時から整理券を配布します。

日付 ▶ 11月23日(金)
場所 ▶ 1階 ワクワクワ広場

企画1 機織りでコースターづくり

定員 ▶ 各回10名(小学生3年生以上)
申込 ▶ 11月2日～受付開始

実際の機織り機を使い、毛糸のコースターを作ります。作品はお持ち帰りいただけます。

企画2 古代衣装を体験

定員 ▶ 20名
古代衣装を実際に着用することができます。珍しい衣装で、記念の一枚を撮影しませんか。

時間 13:30 | 15:30

企画3 土器パズルに挑戦

定員 ▶ 20名
大人でも考えさせられる、土器の形をした立体パズル。ご家族でぜひ挑戦してください。

時間 13:30 | 16:00

翌月のイベントを少しだけ紹介! 来月のふくちのちは…!?

- クリスマスにぴったり!リースづくり
- クッキングラボでクリームシチュー
- 田川合唱団クリスマスコンサート
- ものづくりラボワークショップ

※内容は変更になる場合もあります。詳しくはお問い合わせください。

NEXT MONTH INFORMATION

新着本

信長の原理
垣根涼介/著 (KADOKAWA)

グッバイ・クリストファー・ロビン
アン・スウェイト/著 (国書刊行会)

「プログラミングができる子」の育て方
竹内薫/著 (日本実業出版社)

クラウドファンディングでおトク生活
板越ジョージ/著 (ゴマブックス)

児童書

10ぼんのぶりぶりソーセージ
ミシェル・ロビンソン/文 (ほるぷ出版)

へっこぶとたれた
こがようこ/構成・文 (童心社)

ケイゾウさんの春・夏・秋・冬
市川重子/さく (講談社)

いきもの寿命ざかん
新宅広二/著 (東京書籍)

福智の風

▶どんなイベントでも運営側を取材すると温かく歓迎してもらえます。その中で感じるのは自分がやってきたことへの自信と愛情。よく「表紙にして」と笑いながら言われますが、冗談ではないのかもしれませんが、初対面でも本音や歩んできた人生を知ることができるのは私が広報担当だからこそ。それを特に感じる事ができたのが10月の金田・神崎地区の秋祭りでした。その模様と人々の姿、込められた熱い思いは来月号でご紹介します。(田代)

▶「一身二生」伊能忠敬のように夢を追いつけ、やりたいと思ったことを突き詰める人生、後悔のない人生を歩めたら幸せです。小さなことに一喜一憂することもあります。夢や目標、やり遂げたいことがあれば、前を見てまた歩き出すことができるのだと思います。英語で「現在」は「Present」。言葉でよくできていて「今」は「プレゼント」なんです。限られた時間の中、夢を追いついていきたいです。(太田)

落の臺句会
忘れぬ夫との生活秋夕べ
宗鑑忌縁もゆかりもなく一句
松ぐらし夕日に染まる柿簾
緋色して笑顔全開さくらの実
松山の煙る天守や秋時雨
本人の予定にあらざ秋の風邪
今ひとたび教へ乞ひたき秋彼岸
木洩れ日や英彦の荒磴露光り

池田 駒女
木村 誠一
千手 弘子
高津 澄子
藤井耿之介
松本 光雄
宮崎富美子
山本 弘

互選

四季の歌

心映の投句

俳句・短歌教室の詠歌紹介

鬼杉赤池俳句教室
落城碑名残の高き鳥渡る
蝸の疲れましたの声で鳴く
開け放つ座敷の鬼面小鳥来る
鬼灯に思ひ出一つ灯しけり
人類の夢は大きく月旅行
銀河濃し神を宿して夫婦岩
孫子よりご馳走届く敬老日
着付終へ笑顔もらつて秋涼し
転枝す友との別れ秋夕焼
とりたてのとうもろこしは元気色小ニ西田

岩井鬼童選
建部三由紀
松岡 蒿枝
長副美恵子
西田 真美
岩井 童子
桂 啓子
植木 チエ
清原サヨ子
小五 西田 咲笑
西田 芽生

ともしび短歌会短歌詠草
あたたかき湯に身を沈め目を閉じて虫の音を聴く湯気に包まれ
さわがしく台風地震のくる地球照らす中秋の名月を眺むる
港にて幽き風を頬に受けそばに猫待つセイゴの夜釣り
畦道を真紅で彩る彼岸花花を踏まじと回り道する
幾歳か吾が家を守りし愛犬ラック白髪ふえて脚も弱りぬ
居眠りしわれに囁くハサミ音目覚めてみればニューヘアスタイル
ゆく夏を惜しみて風鈴二度三度小さく鳴らして小箱に仕舞ふ
秋の風たちて鳴きさるる法師蟬生き残ることも寂しと聞こゆ

村上 美幸
桑野 昭子
白石 清和
越智 早苗
福田 キヨ子
白石 信子
三村 和子
福田 昌



DATE: November.2018 NO: 003

東光寺の焼き仏

市場地区の東光寺にある黒こげの仏像たち。豊後の大名・大友宗麟の兵火に遭い、黒焦げになったとされる本尊を含む木彫群は焼き仏と呼ばれ現在に伝わっています。調査の結果、平安時代後期にさかのぼる薬師如来と十二神将の群像であると考えられます。

●戦火を物語る黒焦げの仏像群

もの悲しく輪郭だけを残したこれらの像は争いの絶えない戦乱の世を物語るようで、東光寺が古くからこの地で栄えたことが感じられます。

●観光サイト「ゆた〜とふくち旅」へ



町の魅力はHPもチェック!